

本の扉

5月号

2024. 5. 24

前橋東高校 図書委員会
3年4組

今年度も図書室、図書委員会をよろしくお願いいたします。さて、新年度も始まりましたが、急に變化した生活に少し疲れやすい季節だと思います。5月病にも陥りやすい時期なので、体調管理に気をつけて毎日を過ごしましょう！

そこで、新生活を彩る本をいくつか紹介しようと思います。



「高校生と考える 人生の進路相談」

著者：磯野真穂(著/文)、ウスビサコ(著/文) 他

出版社：左右社

高校生になってから色々考えることが多く、悩むことが多いでしょう。そんな自分の進路について迷っている人に読んでほしい本です。この本は、心理学、人類学、言語学、精神医学、科学、物理学などの合計18名の大学教授の授業が掲載されており、人生の中で必要なことについて彼らなりの見解が書いてあり、とても興味深い内容になっています。18名の授業の中には、必ず自分に響くものがあって、読者の手助けになってくれると思います。

「自分らしさに内容はありません。いわば、何も入っていないバケツみたいなものです。」 磯野真穂(人類学者/本文より)

「あきらめない政治」

著者：鮫島 浩 出版社：那須里山舎

これからの日本を支えていくであろうZ世代。彼らの選挙への投票率が下がっているのは自分たちも理解していると思います。選挙にいかない人の意見としては「自分が投票に行っても社会は変わらない気がする」が約63%、「誰が政治家になっても社会は変わらない気がする」が49%と、多くのZ世代が「どうせ変わらない」と諦めモードであることが現実です。でも実際は政治に参加して、自分たちの過ごしやすい社会を作っていくと思う人がほとんどだと思います。そんな人達にこの本を読んで少しでも政治について興味を持ってもらえるといいなと思います。



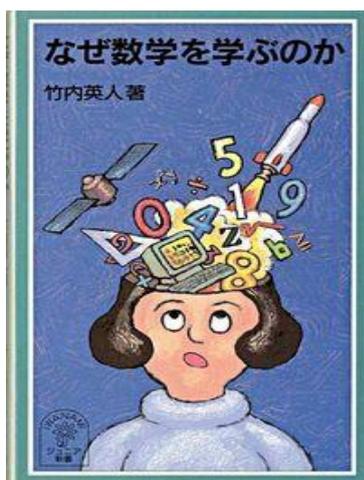
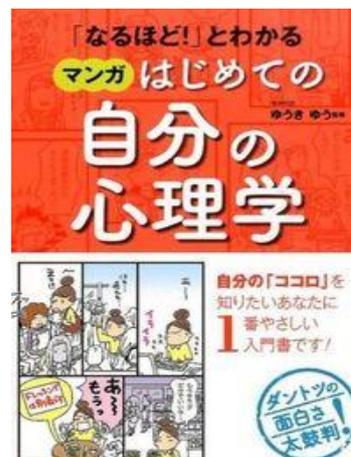
「なるほど!」とわかるマンガ はじめての自分の心理学

著者：ゆうきゆう 出版社：西東社

心理学は将来絶対役に立つ!! 人と関わったり、面接や恋愛のときにめっちゃ役に立つ。

心理学は難しそうで、最初は躊躇いそうになるけど、この本なら4コマ漫画や図が使われているから理解しやすい。ちなみに俺は、過去二年間、勢いとテンションでビブリオバトルでチャンプ本に選ばれ続けました。今年もとります☑ (確定事項)

自分を客観的に見たい人や(気になる)人についてよく知りたい人、悩み事がある人などにこの本はおすすめだぜ。



「なぜ数学を学ぶのか」

著者：竹内 英人 出版社：岩波書店

「将来、因数分解が役に立つとは思わない!」とか「二次方程式の解の公式を知らなくても、困りそうにない。」などと数学が難しくなってきた数学のことがいまいち好きになれない人達が冗談交じり(本気かもしれない^^;)で言うことがあると思います。

自分も「将来数学を使うことがあるのか」、「自分はなんのために数学を勉強しているのか」と疑問に思うことが時々あります。数学を学ぶことに関してなにか疑問がある人は、この本を読むことによって、数学を学ぶことに関する疑問が少しでも解消されていくと思います。

「死んだらどうなるのか?死生観をめぐる6つの哲学」

著者：伊佐敷 隆弘 出版社：亜紀書房

「もし、死んでしまったらどうなるのだろう」— 誰もが一度は思ったことがあると思います。この本はそんな素朴な疑問について、宗教・哲学、AIについての議論をしながら考えていくといった内容になっています。「死」という概念について自分は詳しく考えたことがなかったけれど、この本の中で宗教や哲学などの知見を駆使しながら考えていくのを見てみると、実に興味深い内容が書かれていて、とても面白いと思います。この本は対談形式のため、まるで自分が対談を直接聞いているかのような気持ちになることができます!!



📖 4月の貸し出し状況をお知らせします!

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 | 計 | 職員 |
|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 1年 | 110 | 35 | 40 | 8 | 68 | - | 261 | 26 |
| 2年 | 23 | 3 | 10 | 11 | 1 | - | 48 | |
| 3年 | 30 | 17 | 18 | 11 | 5 | 34 | 115 | |
| | | | | | | 合計 | 424 | 450 |